

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年10月07日

計画の名称	香南市災害に備えた安心安全なまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	香南市													
計画の目標	本市においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風やゲリラ豪雨による風水害など、規模や頻度の異なる災害への対応が求められている。 本計画では、津波避難タワー、津波避難道や防災まちづくり拠点施設、防災備蓄倉庫を整備することにより、避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		1,711	A	1,630	B	0	C	81	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	4.73	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）		（H33末）
1	津波避難施設等の整備による避難困難者の解消を図る。			
	避難困難者の解消率 （本計画での津波避難施設等の整備による避難困難者の解消人口1361人 + 対策済避難困難者の解消人口3624人） / 対策必要総人口4985人	73%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	香南市	直接	香南市	-	-	都市防災総合推進事業（ 吉川地区外4地区）	津波避難道6路線、津波避難 タワー6基、防災コミュニテ ィ施設1箇所、防災備蓄倉庫2 箇所	香南市	■	■	■	■	■	1,630		-	
		別添																		
												小計						1,630		
											合計						1,630			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	施設整備	一般	香南市	直接	香南市	-	-	災害に強いまちづくり事業	（その1）防災・復旧活動用 資機材整備、（その2）避難 誘導灯整備	香南市	■	■	■	■	■	81		-
		基幹事業と一体的に整備することにより、円滑な災害復旧活動ができる体制づくり（地区住民の防災意識向上）が構築でき、また安全確実な避難行動の確保を図る。																	
											小計						81		
											合計						81		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
香南市防災対策課により評価	令和6年9月
	公表の方法
	香南市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波避難タワー整備及び津波避難道整備により、津波避難困難地域の解消が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
新たな整備必要箇所が出てきた場合に早期整備に努める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	